

二つの幼稚園

内務省社會局事務官 谷 口 明 三

一

子ぎもの幼稚園教育を云つたような事柄には全然素人の私が、昨年外遊を機會にヨーロッパで二つの幼稚園を視察した。一つはジュネーヴのルソー幼稚園であり、他はベルリンのベスタロッチ・フレールハウスである。そして、偶然にも此の二つの幼稚園は、互にす違なる二ツの型を持ち、各々その特色を發揮してゐるこゝが素人の私にも了解せられて、非常に興味を惹かされたこゝであつた。

昨年六月、ジュネーヴで開かれた國際勞働會議に政府から出席を命ぜられ、これを機會に、引き続き歐米の一般社會事情を考察するが、謂はゞ餘り柄のよくない形而下的な事象を視察するこゝになつてゐた私には、深遠な教育のこゝなき全く専門外のこゝで解る筈もなく、殊に最も困難なされてゐる幼稚園教育の視察をするなき、全く正氣の沙汰とは思はれなかつた。何のためにこんな大それたこゝをする氣になつたのか、私自身よく解らない程であつたのだ。

一日、友人に「今日は幼稚園の視察だ」と話したら「君も完全に親父になつたナア、神妙な心掛だ」と揶揄されてしまった。成程、洵に神妙な心掛に違ひない、そしてまた、むづかしい幼稚園教育なき解る筈もなく、視察しても見當外れの視方をする虞のある私には、幼稚園の視察なき亦實に勇敢な振舞でもあるのだ。

併し、世に子を持つ親の愛程強いものはない。子のためには、その親は神妙にもなれば勇敢にもなる。私は當時、ちよ

うき幼稚園に通ふ一人の娘の父であつた。

二

會議終了後の一日、餘暇を利用してジュネーヴのルソー幼稚園を視察に出かけた。ジュネーヴの六月は新緑の初夏の氣候で、樹木の多い町端れに在る幼稚園の庭は新鮮な緑に包まれて、跳まはる子ぎもの樂園そのものであつた。

此の幼稚園は世界にも名のある幼稚園だ、予ねて其の道の先生に聴かされてゐるが、古風にして落付のある建物、靜かな園域、成程こ領かれるものがあつた。

先づ、研究室に Pigeot 教授を訪ねた。彼はルソー大學の教授で、子ぎもの教育には特に造詣の深い心理學者である。豫め約束のしてあつた私を快く迎へて、ルソー幼稚園の創立の沿革や現在に於ける保育方針等に付色々こ詳はしい説明をしてくれた。彼は私を多少こも斯の道に心得のある者こでも思つたのか、むづかしい兒童心理の話なご持ち出され、素人の私を少なからず面喰はした。が、その時日本のプロフェッサー・クラハシ（倉橋惣三先生を指す）は斯道に名のある人だこ聞かされたので、これ幸ひこ、倉橋先生のここや、先生に御厄介になつてゐる私の娘のここなきに話を導いて、兒童心理學問答の難をのがれた。

翌日、園長オールドマール女史の案内で幼稚園の色々の設備を視察するここを許されたが、生憎、園長に突然の故障が出来た爲め、副園長たる一老女史の案内で保育に關する色々々の説明を聴き、澤山の設備を視るここが出来た。此の幼稚園の保育方針は、もこ、伊太利の教育家モンテッソーの教育方針を採用してゐるが、その後、現園長オールドマール女史の研究に依り、同女史の新機軸に係る新しい方針に基いて保育するここになり、爾來著しく好い成績をあげてゐるここで大變な自慢であつた。私はその新しい方針なるものに付いて詳はしく聴きたかつたが、前日ピアジェ教授の兒童心理學問答（？）に

怖をなした私は遂に質問を發する勇氣がなかつた。

園内の各室には色々澤山の設備が順序よく配列せられてあつたが、私はこれを視て、當幼稚園の保育方針が、如何にして子ぎもの情操を早く發達させ、また、如何にして子ぎもの叡智を強く引き伸ばして行くか、云ふこゝに非常な努力の研究が拂はれてゐる云ふこゝを特に感ぜさせられたのである。

此の目的のために使用せらるゝ色々の玩具その他の機械的諸設備の完備してゐるこゝには全く驚かざるを得なかつた。私は餘りに各種の施設が理論的に出來上つてゐるので、案内の先生に「色々の設備は寔によく整備されてゐるが、子ぎものに對して刺戟が強過ぎはしないか」尋ねたら「當幼稚園は少數の天才の卵を造るこゝに力を傾けてゐる」この答であつた。そのよしあしは私には解らないが、成程ミ領かれる節があつた。この點に於て、次に述べるドイツの幼稚園著しくその保育方針を異にしてゐるように思はれる。それは、恐らくは、その國情の相違に深く源を發してゐるのであらう。私は此の點に付いて、後に更に、淺薄な素人の判斷を試みて見たい。

三

「ハイル・ヒットラー！」と、右手を舉げた可愛い幼稚園の子ぎも等の心からなる挨拶に迎へられて、私は或る日、ベルリンのベスタロッチ・フレールベル幼稚園を訪ねた。一つの新しい指導精神を以て祖國の復興に懸命の努力を拂つてゐる新興ドイツは、その將來を擔ふべき第二の國民にどんな教育を施してゐるか、私はこのこゝに特別の興味を惹かされたのであつた。

此のベスタロッチ・フレールベルハウスはドイツに於て最も古く創立せられたものであり、現在に於ては其の規模も最も大きく、事業も非常な好成绩をあげつゝあつて、ドイツに於ける代表的なもの云はれてゐる。

そのため、ドイツ國內は勿論のこゝ、外國からも多數の視察者があるので、一人の若い女の先生が案内専門の仕事に従事してゐる。また、色々の印刷物や寫真なども希望に依つて自由に購ふことが出来るようになってゐて、視察者は非常な便宜を感じる。

この幼稚園は、その初め一八七六年、フレールの姪で且つ彼の生徒であつたヘンリエテ・シュラーデルブライマンの創意に依つて興されたものであつて、最初は八人の子もその保姆たる少女五、六人をも養成した極めて貧弱なものであつたが、現在では三百人の子も四百五十人の生徒も五十人の先生をも持つ大規模なものになつてゐる。

案内の先生の説明は洵に入つたもので、年は若い流石に専門家たるの名を辱しめなかつた。そして、如何にも得意げに色々の設備を見せてくれ、學校の組織や幼稚園の教育方針などに付詳細な説明をしてくれた。それに依るこゝ、このペスタロッチ・フレールベルハウスは二つの大きな部門から成つてゐて、一つは將來保姆又は家庭の母となるべき人を教育しこれを養成する機關であり、他は即ち幼稚園も云ふべき部門であつて、子どもを保育を掌るものである。

前者はその事業が幼稚園プロバの事業でないこゝは勿論であるが、兩者は本來密接不可分の關係にあるべきものであるから、一應その組織を視るこゝにした。こゝは、保姆の養成、保姆に對して一般的な指導教育を施す教師の養成、保姆に對して手工等特殊の教育を施す教師の養成及び幼稚園に於て母代りに幼児を育てる保育婦又は家庭に於て將來母たるべき者の養成等の四種の教程があつて、極めて専門的な組織と設備とを持つてゐる。その科學的なこゝろ、如何にもドイツの教育機關たるの面目躍如たるものがあつた。こゝには單にドイツ國內からばかりでなく歐洲の各國からも多數の留學生が派遣せられ、現在、約四百五十人の生徒を擁して歐洲の教育界に赫赫たる名聲を馳せつゝあるが、蓋し當然に云ふべきであらう。私は勿論、幼稚園の組織により多くの興味を持ち、主としてこの方を視察したのであるが、此の幼稚園は、普通

一般に觀念せられてゐる所謂幼稚園は著しくその趣を異にしてゐることを發見した。これを我が國の機關にたこへて見るならば、普通の幼稚園は極めて贅澤な託兒所を兼ねてゐるものだ云ふことが出來よう。従つて、園兒の年齢、種類等必ずしも一定せず、中には未だ母親の手から離れることの全然困難な幼兒もゐて、先に述べたその方の専門の先生が食事の世話から入浴に至るまで一切の保育に従事してゐる。また、學齡に達しても身神の發達未だ充分でない子ぎもに對しては、園兒として強制的に入園せしめられることになつてゐて、その組織は極めて複雑であり、非常な苦心が拂はれてゐる。そして、この施設が著しく社會政策的な機關としての色彩が濃いことを感じた。併し乍ら、それは決して所謂救濟的な社會事業ではなく、その保育方針は極めて科學的であり、その設備も亦よく完備してゐて、園兒を通して學問を實際の融合がこゝに展開されてゐるのを視ることが出來た。

ルソー幼稚園で「こゝは少數の天才の卵を造ることに力を傾けてゐる」を聞かされた私は、案内の先生に「當幼稚園に於ける幼兒保育の根本目的は？」と質ねたところ、言下に「出來得る限り多數の健全にして圓滿なるドイツ國民の卵を製造するに在る」の答であつた。少數の天才の卵を造る代りに、將來益々風當りの強いであらう大國ドイツを擔ふに足るガツチリした國民を一人でも多く製造することが彼等の念願であるのだらう。

四

私は歐米外遊中、職務上の視察の餘暇を利用して僅かに二つの幼稚園を視察したのであるが、偶然にもその二つが幼兒保育の方針に於て、従つて亦その方法に於て、根本的に相異なるものあるを發見したのであつた。一方は「少數の天才の卵を造るのだ」云ひ、他方は「健全にして圓滿なる國民の卵を一人でも多く製造するのだ」云ふ。固よりその當否は素人たる私には解らないが、此の如き保育方針の顯著なる差異は、多分に、その國の國情の差異に深く因由してゐるのではない

かと思はれる。

スイスは歐洲に於ける大國の中間に位してその勢力均衡のため永世中立國となり、外敵の厄に遇ふことなく、世界平和のシンボルとしてその繁榮を持續してゐる國であつて、世界平和に關する一切の機關はジュネーヴに集中せられてゐる。従つて、國民が自國の國力充實、國防の強化等の問題を通じて國家觀念を養ふ機會が乏しい、また、その必要の少ない國でもある。かゝる國家の教育が、多數よりも少數、量よりも質たるの色彩を濃くし、それが尊重せらるゝに至るのは亦已むを得ない自然の傾向であつて、かゝる國家に於ては亦相當有意義な原則であるかも知れない。

之に反して、ドイツは歐洲の大國として古より緊張した國際場裡に在り、特に昨今の新興ドイツは、國民に最も強烈な國家觀念を吹き込み、一人でも多くの國民の力に依つて國力の恢復を充實を圖ることが要求されてゐる。質よりも量、國民の悉くが健全なる發達を遂げ、その力に依つて國家の復興を圖ることを急務としてゐる。少數の天才よりも不健全なる國民の一人でも尠なからんことを念願してゐるのは正に當然を云はねばならぬ。

され、子どもは國は天國の樂園。それは國境のない世界である。嬉々として跳まはつてゐる天真爛漫の相、無邪氣に演ぜらるゝ遊戯、紙芝居に興ずる彼等の顔、砂遊び、さては土盛りして死んだ昆蟲の冥福を祈る御慕遊び。之等の諸相を通じてその幼稚園を視るべきは、其處にはジュネーヴもなければベルリンもなく、更に東京もない、云ふことを深く感ぜさせられたのであつた。(二一、三、三三)